



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 川田テクノロジーズ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3443 URL <http://www.kawada.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川田 忠裕

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 渡邊 敏

TEL 03-3915-7722

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	63,154	△3.5	△324	—	△1,754	—	△1,718	—
25年3月期第3四半期	65,473	11.8	909	—	207	—	93	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 △1,228百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 136百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△301.44	—
25年3月期第3四半期	16.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	98,375	28,507	28.8
25年3月期	93,258	29,886	31.8

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 28,291百万円 25年3月期 29,673百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	30.00	30.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	2.7	1,000	△51.0	700	△66.4	500	△64.6	87.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	5,781,070 株	25年3月期	5,781,070 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	74,088 株	25年3月期	82,641 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	5,702,223 株	25年3月期3Q	5,698,832 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	10
受注、販売及び繰越高の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和政策など内需の底上げにより景気は回復基調にあるものの、欧州経済の停滞や新興国の経済成長鈍化などの要因により、先行き不透明な状況が続いています。

建設業界におきましては、公共工事については復興関連需要やインフラ整備事業などを背景に需要は増加傾向にあり、民間工事についても国内設備投資において持ち直しの動きが見えるなど総じて堅調に推移しています。一方で、熾烈な受注価格競争に加え、人材不足による労務費の高騰や資機材価格の上昇など懸念材料が多く、依然として厳しい経営環境が続いています。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、受注高は75,933百万円（前年同四半期比41.9%増）、売上高は63,154百万円（前年同四半期比3.5%減）となりました。

収益面につきましては、営業損失324百万円（前年同四半期は営業利益909百万円）、経常損失は持分法による投資損失722百万円の計上などにより1,754百万円（前年同四半期は経常利益207百万円）、四半期純損失は1,718百万円（前年同四半期は四半期純利益93百万円）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しています。）

（鉄構セグメント）

鉄構セグメントにおきましては、売上高は30,004百万円（前年同四半期比7.9%減）となりました。収益面では、大型案件の設計変更の成約に遅れが出ていることから採算が悪化し、コスト削減や生産性の向上などに積極的に取り組みましたが、営業利益は194百万円（前年同四半期比79.8%減）となりました。

（土木セグメント）

土木セグメントにおきましては、受注高の増加を背景にPC橋梁工事の施工が順調に進捗したことから、売上高は19,041百万円（前年同四半期比9.0%増）となりました。収益面では、設計変更獲得による収益性の改善に加え、コスト削減に一層努めた結果、営業利益は266百万円（前年同四半期比96.0%増）となりました。

（建築セグメント）

建築セグメントにおきましては、工事着工の先送りなどの影響が大きく、施工高が低調に推移したことから、売上高は7,896百万円（前年同四半期比25.3%減）となりました。収益面では、労務費や資機材の高騰の影響などから大型物件の採算性が悪化し、各工事で原価低減に努めたものの、営業損失123百万円（前年同四半期は営業利益245百万円）の計上となりました。

（その他）

その他におきましては、売上高は7,263百万円（前年同四半期比19.7%増）となりました。収益面では、連結各社の売上が堅調に推移したことや継続的な原価改善に努めた結果、営業利益は343百万円（前年同四半期比36.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間における「資産の部」は、98,375百万円となり前連結会計年度末に比べ5,116百万円(+5.5%)増加しました。これは主に、受取手形・完成工事未収入金等が5,979百万円増加したことによるものであります。

また、「負債の部」は、69,868百万円となり前連結会計年度末に比べ6,495百万円(+10.3%)増加しました。これは主に、支払手形・工事未払金等が2,211百万円増加し、また運転資金の調達のため短期借入金が増加したことによるものであります。

一方、「純資産の部」は28,507百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,378百万円(△4.6%)減少しました。これは主に、利益剰余金が1,889百万円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前期末の31.8%から28.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点で合理的に把握出来るものを反映した結果、通期業績予想につきましては、平成25年5月10日公表の連結業績予想の内容と変更ございません。なお、今後何らかの変化が認識された場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	6,687	4,971
受取手形・完成工事未収入金等	32,391	38,370
未成工事支出金	1,085	1,146
その他のたな卸資産	868	525
繰延税金資産	51	15
その他	1,829	2,163
貸倒引当金	△61	△59
流動資産合計	42,852	47,132
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	4,904	4,801
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	1,313	1,292
航空機(純額)	1,510	1,582
土地	16,589	16,589
リース資産(純額)	2,267	2,618
建設仮勘定	62	1,132
有形固定資産合計	26,648	28,017
無形固定資産		
	768	722
投資その他の資産		
投資有価証券	931	1,062
関係会社株式	20,116	19,630
長期貸付金	497	442
その他	2,232	2,207
貸倒引当金	△795	△840
投資その他の資産合計	22,982	22,502
固定資産合計	50,399	51,242
繰延資産		
創立費	7	0
繰延資産合計	7	0
資産合計	93,258	98,375

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	19,210	21,422
短期借入金	9,503	12,468
1年内返済予定の長期借入金	6,218	6,021
1年内償還予定の社債	210	410
未払法人税等	179	104
未成工事受入金	3,946	3,848
賞与引当金	952	395
完成工事補償引当金	92	54
工事損失引当金	1,807	1,638
損害補償損失引当金	208	23
資産除去債務	5	5
その他	3,314	3,795
流動負債合計	45,650	50,188
固定負債		
社債	525	1,200
長期借入金	9,391	10,804
繰延税金負債	23	52
再評価に係る繰延税金負債	1,936	1,936
退職給付引当金	3,298	3,068
役員退職慰労引当金	284	277
資産除去債務	149	149
負ののれん	267	253
その他	1,847	1,938
固定負債合計	17,722	19,679
負債合計	63,372	69,868
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	10,368	10,364
利益剰余金	13,794	11,905
自己株式	△277	△248
株主資本合計	28,885	27,021
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	135	406
土地再評価差額金	418	418
為替換算調整勘定	234	445
その他の包括利益累計額合計	787	1,270
少数株主持分	212	215
純資産合計	29,886	28,507
負債純資産合計	93,258	98,375

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	65,473	63,154
売上原価	60,324	59,270
売上総利益	5,148	3,884
販売費及び一般管理費	4,238	4,208
営業利益又は営業損失(△)	909	△324
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	30	31
受取賃貸料	146	137
負ののれん償却額	15	15
持分法による投資利益	23	—
貸倒引当金戻入額	1	—
その他	81	115
営業外収益合計	307	307
営業外費用		
支払利息	599	557
賃貸費用	366	374
持分法による投資損失	—	722
その他	43	82
営業外費用合計	1,009	1,737
経常利益又は経常損失(△)	207	△1,754
特別利益		
固定資産売却益	3	4
保険差益	2	—
損害補償損失引当金戻入額	—	154
災害損失引当金戻入額	7	—
事業構造改善引当金戻入額	10	—
受取補償金	—	85
その他	10	6
特別利益合計	34	250
特別損失		
固定資産除却損	7	6
関係会社出資金評価損	—	6
ゴルフ会員権評価損	13	—
その他	10	0
特別損失合計	31	14
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	211	△1,518
法人税、住民税及び事業税	85	153
法人税等調整額	9	40
法人税等合計	94	193
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	116	△1,712
少数株主利益	23	6
四半期純利益又は四半期純損失(△)	93	△1,718

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	116	△1,712
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36	62
土地再評価差額金	△11	—
持分法適用会社に対する持分相当額	67	421
その他の包括利益合計	19	483
四半期包括利益	136	△1,228
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	113	△1,235
少数株主に係る四半期包括利益	23	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	31,874	17,324	10,556	59,755	5,717	65,473
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	692	152	16	861	348	1,210
計	32,566	17,477	10,573	60,616	6,066	66,683
セグメント利益	964	136	245	1,345	252	1,598

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,345
「その他」の区分の利益	252
セグメント間取引消去	114
全社費用(注)	△879
その他の調整額	76
四半期連結損益計算書の営業利益	909

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	29,592	18,812	7,895	56,300	6,854	63,154
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	412	229	0	642	409	1,051
計	30,004	19,041	7,896	56,942	7,263	64,206
セグメント利益又は損失(△)	194	266	△123	337	343	681

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他の機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	337
「その他」の区分の利益	343
セグメント間取引消去	7
全社費用(注)	△1,031
その他の調整額	18
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△324

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

受注、販売及び繰越高の状況

(1) 受注高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	26,061	48.7	32,010	42.1	5,948	22.8
土木	8,563	16.0	23,886	31.5	15,323	179.0
建築	12,027	22.5	11,767	15.5	△260	△2.2
その他	6,869	12.8	8,269	10.9	1,399	20.4
合計	53,522	100.0	75,933	100.0	22,410	41.9

(2) 販売高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	32,566	48.8	30,004	46.7	△2,562	△7.9
土木	17,477	26.2	19,041	29.7	1,564	9.0
建築	10,573	15.9	7,896	12.3	△2,676	△25.3
その他	6,066	9.1	7,263	11.3	1,197	19.7
合計	66,683	100.0	64,206	100.0	△2,476	△3.7

(3) 次期繰越高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第3四半期 連結会計期間末 (平成24年12月31日)		当第3四半期 連結会計期間末 (平成25年12月31日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	38,150	56.0	48,022	52.4	9,871	25.9
土木	20,400	29.9	30,064	32.8	9,663	47.4
建築	8,042	11.8	11,685	12.7	3,642	45.3
その他	1,578	2.3	1,964	2.1	386	24.5
合計	68,171	100.0	91,735	100.0	23,564	34.6

(注) セグメント間の取引については、相殺消去していません。